

「水源の里」の維持・再生に向けた新たな支援対策について

近畿部会提出
説明担当 大津市

全国には過疎・高齢化が進行し、コミュニティの維持など、地域活動が困難な状況に直面している集落（いわゆる「水源の里」）が多数存在し、その数は今後も増え続けることが予想されている。

こうした集落は、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、人口の密集する都市部と互いの役割を果たしながら、日本の国土を形成し、国民の生活を支えている国民共通の財産であることから、一日も早くその対策を講じることが喫緊の課題である。

については、支援窓口等の一本化を図り、「水源の里」の維持・再生に向けた取り組みを引き続き推進するとともに、その基盤となる「集落の振興」に重点を置く、交付税制度等の支援について強く要望する。